

(南知多町)

市町村の 基本情報	学校数	小学校 5校、中学校 2校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員	0人	
		地域学校協働活動推進員	4人	
	状況	統括コーディネーター	0人	
		地域コーディネーター	0人	
	CS及び地域学校協働本部設置状況	CSを導入している学校数	小 0校	中 1校
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小 0校	中 1校	



南知多町では、令和5年4月に四つの中学校が統合し、南知多中学校が開校した。開校準備の段階から、地域との関係が希薄になることが懸念され、コミュニティ・スクールの導入が検討されていた。開校後、9月に学校運営協議会を設置し、4地区からそれぞれ学校運営協議会委員（4名）及び地域学校協働活動推進員（4名）を選任し、コミュニティ・スクール（南中コムスク）となった。推進員は、学校運営協議会に出席するとともに、地域住民が学校のパートナーとなり、子供たちの健全育成に積極的に関わる『南中地域学校協働活動〔南活（ナンカツ）〕』を推進している。

(活動の実際)

<『南知多探究学習』の支援>

(目的)

- ・町の将来を担う子供たちを、学校と地域で育てるという共通の目標のもと、地域の大人が生徒の学びに寄り添い、探究課題の解決を支援するとともに、地域が抱える課題の解決に生徒を積極的に関わらせる。

(活動内容)

- ・防災学習（1年生）を進める際の活動補助やマップ作りにおける助言等の支援
- ・生き方講話（1年生）の講師 ※職業人や地域貢献に携わる方の話を聞く活動
- ・企業探究のプログラム学習（2年生）における助言及び最終発表会の審査
- ・南知多探究学習（3年生）におけるミッションの考案、訪問先の斡旋、体験活動の受け入れ、クリエイティブミーティングへの参加

(活動で意識していること)

- ・地域の大人が中学生の課題解決にとことん寄り添えるよう、推進員が地域への橋渡しをする。
- ・中学生が推進員との関わりの中で、自ら声を上げれば実現できるかもという期待感をもたせる。

(◎成果と●課題)

- ◎探究学習での訪問先や講師を紹介してくれたおかげで、教員の負担軽減につながった。
- ◎生徒を地域の創り手とみなし、地域全体で子供たちを育てようとする意識が高まっている。
- コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の理念が分かりづらいという声があるため、効果的な周知を図っていく必要がある。

(関係者の声) =できるだけ多様な立場の方々の御意見を記入

- ・活動の様子をおたよりにまとめ、全家庭に配布したり回覧板で地域に発信したりできるとよい。(委員)
- ・地域が分かる強みを生かして、先生方の役に立てる活動をしていきたい。(地域学校協働活動推進員)
- ・中学生を地域の活動メンバーとして参画させることで、地域を支える人材を育てたい。(地域住民)
- ・困りごとがあれば、まずは南活本部にお願いすればよいと考えるようになった。(教員)
- ・体験活動が取り組みやすくなるように、推進員の方がアドバイスや準備をしてくれた。(生徒)